

意外と知らない歯科知識

臓器は会話している!?

「口」から始まる生命活動

DENTAL CARE

「体中の臓器が互いに直接メッセージをやりとりし、情報交換している」そんな驚きの事実が明らかになってきています。それは「口」についても同じことが言えるそうです。赤木先生に詳しく話を聞きました。

この先生に聞きました!



赤木歯科 赤木 誉院長
歯学博士。1984年赤木歯科開設。37年前からインプラント治療を行う。米インプラント学会アソシエイトフェロー、日本口腔インプラント学会認定専門医、指導医。歯科医師臨床研修指導医。再生医療認可施設。

人体の組織において

証明された相關関係

体の全ての組織、臓器はそれぞれが「連携」し「運動」「連絡」しあうことが証明され、そのネットワークが解明されつつあります。組織、細胞の一つ一つに至るまで単独で存在するものはたまたまなく、独立して機能していることはありません。昨年、NHKの番組である「腸脳相関」について、腸内環境が脳に大きな影響を与え、腸の状態が脳に大きく作

用していることが取り

上げられていました。その番組内で、一つの例として腸内環境が改善されると、うつ症状が軽減することが紹介されていました。マウスを使った実験では積極的な性格のマウスの糞便を消極的な性格のマウスに移植するとそのマウスは積極的な性格になりました。また、その逆もあつたことから、糞便移植により腸内環境(腸内細菌層)が脳に大きな影響を与えていることが証明されています。全く異なる組織が連動しているのです。

口腔機能と

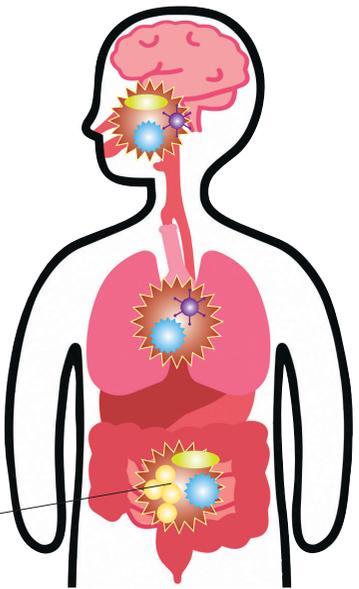
他の組織との関係

残念なことに、口腔機能についてはあまり大きく取り上げられることがなく、体の一部でありながら存在感が少し薄いような印象があります。しかし、口腔機能こそすべての始まりであり、終わりでもありません。人生の始まりは「産声」を挙げた瞬間から始まり、息を静かに引き取る時まで続きます。産声を挙げたら、次に吸啜反射(きゅうてつはんししゃ)で母乳を吸う

ことで命が継続され、最終には咄しゃくをやめ、息を引き取り生涯を閉じます。近年、花粉症治療に舌下免疫療法が広く行われるようになりました。それだけでなく、「認知症治療」や「アルツハ

織と言えます。「健口」を大切にしてください。

「内なる外」を守る粘膜免疫システム



数千億から1兆個の免疫担当細胞が存在している

療」や「アルツハ

医療法人 貴志会
赤木歯科

再生医療認可施設
高槻市高槻町 7-5
※2022年12/1から2年間、
仮診療所で診療しています。
仮診療所:高槻市高槻町 2-11-3F

☎072-682-0190
<https://www.akagi-implant.com/>

